

団体名		株式会社エフエムむさしの							
①	指標名	出演ゲスト数				目標値	700人（組）	実績値	764人（組）
	過去の実績 （単位： ）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	109.1%	達成状況	達成
			-	-	740人（組）				
	取組内容	・朝、昼、夕方の生放送番組において、電話収録等も含めたゲストとのトークコーナーを継続的に放送した。 ・地元ミュージシャンや演劇スタッフ、出版関係者、美術アーティストなどさまざまな分野の文化活動の実践者に出演いただき、リスナーの知的好奇心に対応した。 ・官民問わずさまざまな地域イベントの関係者に出演いただき、地域活動の活性化に寄与した。 ・市民ボランティア団体の協力により、多様な地域人材の発掘・出演につなげた。 ・夏休み・春休み期間には、友好都市関係者に出演いただき観光PRにつなげた。 ・パーソナリティにおいても独自取材を行い「Italk 1song」「リポート番外編」などのコーナーを企画・実施した。 ・ゲスト出演者のX（旧Twitter）を積極的にリポストすることでSNSでの拡散効果を図った。 ・3月の開局記念特番において、商工会館1階スペースをサテライトスタジオとして活用しラジオ放送の可視化を図った。							
事業評価	一次評価	朝・昼・夕方の生放送番組を活用し、多くのゲストを招き、目標値を達成した。さまざまな分野で活躍するゲストのインタビューにより、地域のにぎわいやリスナーの多様な関心領域についての情報を伝えることができた。さらに、ゲストによるSNS発信やそのリポストを多用することで、むさしのFMの認知度向上にもつなげた。							
	二次評価	番組へのゲスト出演の機会を積極的に創出し、昨年度を上回るゲスト数を達成された。地域に密着した番組づくりを引き続き継続され、リスナーの増加に繋げていただきたい。							
②	指標名	新規出稿				目標値	3,000千円	実績値	3,787千円
	過去の実績 （単位：千円）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	126.2%	達成状況	達成
			2,989	2,383	2,867				
	取組内容	・ホームページにおいて料金表などへのアクセスのし易さや、メッセージフォームの簡易化などを進め、さらに、ボイスサンプルの掲示など、さらなる発注者の利用環境の整備を進めた。 ・吉祥寺活性化協議会での情報提供など多様な事業者と接触する機会を図った。 ・市や財団法人、商業関係者、大学等との調整を進め、司会や音響などイベント事業の受託を進めた。 ・他のコミュニティFMと連携し、共同での発注に対応した。 ・番組制作などの相談に対し丁寧に対応することで、番組放送の実現に達した。過去のスポンサーからの再度のCM出稿を得るなど従来の対応結果も活かされている。							
財務評価	一次評価	企業の広告費がインターネット広告へ移行する中、新番組のスタートや他局と連携したCM出向などを得て目標値を達成した。新番組が新聞等で紹介されるなど認知度向上にも効果的であった。過去のスポンサーから地域での事業のために数年ぶりにCM出稿をいただく事例もあり、既存スポンサーの安定的な出稿の堅持も含め、着実な営業活動を進めていく。							
	二次評価	様々な主体へのアプローチにより、昨年度を大幅に上回る新規出稿を達成された。今後も出稿の効果を積極的に周知していただき、安定的な経営を目指していただきたい。							
③	指標名	広報メディアの利活用				目標値	ホームページ、番組表などメディアの見直し、周知の拡大	実績値	実施
	過去の実績 （単位： ）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	100.0%	達成状況	達成
			-	-	ホームページリニューアル				
	取組内容	・昨年3月にリニューアルしたホームページの検証を進め、Podcastとの連携やボイスサンプルの掲示など利用しやすい環境整備を進めた。 ・番組表については開局30周年を契機に紙面をリニューアルした。大型商業施設など配布先の拡充を図ったほか、市立学校についてはデータ配信を活用し、小学校低学年だけでなく小中学校全学年への配布を行った。また、保険会社による配布協力を継続するなど個別ニーズにも応じた周知を行った。 ・SNS活用として、X（旧Twitter）での頻繁な情報発信を進めるとともに、番組関係者の投稿をリポストするなど、FMを基軸としたつながりづくりを進めた。 ・動画配信についてはむさしの市民テレビ局との連携によりYouTubeによる配信に協力した。 ・「週刊きちじょうじ」や市民社協「ふれあい」などと連携を深め、多角的な情報発信につなげた。 ・開局30周年や市新番組に関する市リリースに対応することで、大手新聞紙等の掲載につなげた。							
内部管理	一次評価	多様なメディアで発信することでむさしのFMの周知を進めた。特に30周年や新たな市政情報番組の開始など令和7年特有の機会を活かすことで新聞掲載など露出を高めた。ただし、むさしのFMの認知度向上は依然として課題であり、更なる周知・広報活動が必要である。							
	二次評価	様々な広報媒体を活用し、むさしのFMの認知度向上に努められたことを評価する。今後も積極的に周知の機会を捉え、多角的な広報を進めていただきたい。							